



日本共産党 和歌山市議員

森下さち子ニュース

2012年【2月号】 和歌山市鳴神 1145の6 TEL(474)6556
市議員団ホームページ <http://jcpwkym.sakura.ne.jp/> TEL(435)1113



辰年を迎えて早1ヶ月が過ぎました。二十四節気では、2月4日が立春。しかし、2月はまだ寒さの底です。特に今年は新潟を始め北陸、長野などで大雪となっており、雪下ろしなどで高齢者の方が命を落とされるという事態が起きています。今年の春はいつもより遅いとか。インフルエンザの流行もまだまだこれからです。くれぐれも、ご自愛ください。

そして、大変遅ればせながら、今年もどうかよろしくお願いいたします。



2012年も精一杯がんばります！

市議員団の仕事始めは、毎年のとおり4日の市役所前の新年ビラ配りからスタートしました。1月は新春のつどいや各団体の旗開きなどにお招きをいただき参加するなど、年頭から駆け足で活動がはじまっています。



1/23「怒りの総行動」集会に参加

「後期高齢者医療制度の廃止」「消費税増税反対」「年金減らすな」と県庁までのデモ行進に続き、県当局との交渉も行われました。国重秀明氏も参加しました。

滝畑の産業廃棄物最終処分場建設計画

← 昨年の議会で問題点を詳細に指摘し、今年に入って専門家に意見を聞く中で、地震との関係やこの地域の地質の問題から判断して、この計画はどの点からみても絶対に許可すべきでない、と市長と教育長に要望書を提出しました。(2/3)



2月議会が2月24日から3月20日前後まで開会される予定です。2月議会は新年度(2012年)の予算を決める議会で、各会派が行う代表質問はダイジェスト版をテレビ和歌山や和歌山放送で放映・放送されます。放送の際には各会派の代表によるインタビューや質問者が語る内容の要点なども併せて放送内容に含まれています。ご覧になつていただく、構成メンバーや会派の議会活動の一端を垣間見ることが出来ます。

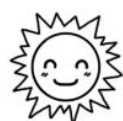
2月議会 傍聴にお越し下さい



原発ゼロ！震災復興！いのちを守ろう！3.11和歌山県民大集会

東日本大震災・原発事故から1年目を迎える3月11日、和歌山城西の丸で「3.11県民大集会」が開かれます。この集会は原発ゼロ、震災復興、TPPへの参加反対、消費税増税ストップ、社会保障拡充を求め、「変えるのは私たち」を合い言葉に各分野、各地域が連帯して取り組みを進めます。

3月11日(日)11:00~15:00
和歌山城・西の丸広場



模擬店やステージ企画、各種相談コーナー、フリーマーケット、アピール行進などあります。
誰でも参加できます。みんなで集まろう！

日本共産党 くにしげ秀明です



くにしげ秀明 (衆院一区)

財界・大企業が求める消費税増税、アメリカ政府が求める沖縄・辺野古への新基地建設。野田内閣は、この2つの案件の実現に執念をみせています。←

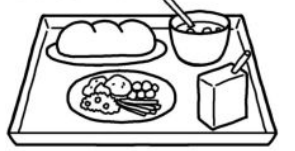
「くらしも景気もますます落ち込ませる増税は反対」、「新たな基地の負担はゴメンだ」との声に耳を貸そうとしない政治は許せません。そのうえ民主党は、比例代表を中心に衆議院議員定数の削減を主張。一方で年間320億円の政

助成金(日本共産党以外)の政党が請求する姿勢です。は温存の助成金の金額は増えることになりません。「国民の生活が第一」の公約を裏切る民主党に政治を担う資格はありません。解散・総選挙で審判を仰ぐべきです。



増税許さない

中学校給食が



はじまります!

2月議会

議決後に決定!

中学校給食は当初予定していた、小学校で調理して中学校へ運ぶ「親子方式」を断念し、「選択式デリバリー方式」で提供されることとが、教育委員会の方針として決定されました。新年度(2012年)10月から

西脇、河西、楠見、日進、西和、西浜の6中学校へ実施予定だということです。詳細は2月議会の議決後に本決定となります。

残る課題

中学校給食については、児童・生徒の目に見えて、温かい物が提供できる自校方式かそれに準ずるようなものをと、質問などを通じて要望してきましたが、予算やできるだけ早く全校実施したいとの理由から叶いませんでした。しかし、スローフードや

食育が叫ばれる昨今、効率や機能性を優先させるような食のあり方が本当に良いのかどうかを改めて問い直すことも大切ではないでしょうか。

中学校給食が実施される過程を通じて、引き続き、子供たちにとってよりよい給食のあり方についての議論をしていきたいと思っています。みなさんのご意見もぜひお寄せください。



こんにちは！ 藤井健太郎です

(ふじいけんたろう)



寒さが一段と厳しくなり、インフルエンザが猛威をふるい始めました。

孫の行く幼稚園でも次々と学級閉鎖です。

病院でも入院患者の見舞いは極力断り、外来者へはマスクの着用や手指の消毒を呼び掛けています。私も付き添い中のマスクの着用、手洗いと消毒に心がけています。

入院している母の最後の検査が終わり、退院許可が出ましたが食事をとれない状態が続いています。

食事をとる環境作りが必要ではと考えていたら、入院前にお世話になっていた老人保健施設の職員さんが訪ねてくれて「施設に戻してくれたらいい、みんなで食べられるようにする」と言ってくれました。病院と介護施設の「役割の違い」と「連携」のあり方を見るような思いがし、再び施設にお願いすることになりました。

老人保健施設での医療は限定されているため病院ほど濃厚な治療はできませんが、介護力はあるので生活リズムの回復には期待が持てます。短期間の点滴なら見守りもお願いできます。ご飯を食べるようにと母を励まし続けています。

シルバー世代のための

「法律講座」

第1回テーマは「遺言・相続」

ゆら・山崎法律事務所主催の市民法律講座が実施されます。講座終了後は無料の法律相談も行われるそうです。

私たちは、家族、兄弟姉妹、親戚など自分を取り巻く様々な人間関係の中で生活しています。健康な時、若いときには意識しないことでもいざ、自分に何かあった時、あるいは高齢になった時、遺産や相続の問題は避けて通れません。不要な争いを生み出さないためにも、また、支える家族という立場での課題などについてもこの際、学んでみませんか。

日時：2月17日(金)

午後6時30分～

(約1時間)

場所：新橋ビル7階A会議室

(JR和歌山駅前)

講師：山崎和友弁護士

参加費：無料

講座後の無料相談を希望される方のみ、事前予約が必要です

電話 073・433・5551



さち子の 雑感

ご覧になっていらっしゃる方もいると思いますが、NHKの朝ドラにハマっています。

主人公は世界的なデザイナー・「シノ」3姉妹のお母さん、小篠綾子さんです。大阪は岸和田生まれ。女手一つで「シノ」洋装店を成功させ、3人の娘を世界的なデザイナーに育て上げた人です。お転婆な少女時代、「だんじり」にあこがれますが、女は「だんじり」に乗れないと言われ、それなら私の「だんじり」はミニマム・たくましく自分の生きる道を切り開いて行きます。

主人公だけではなく、両親、おばあちゃん、夫、ご近所の方々も生き生きと描かれていますし、糸ちゃん(ドラマでは小原糸子)の立ち振る舞いや言葉が、とにかく小気味よくてさわやか、毎日見るのが本当に楽しみです。岸和田弁が和歌山弁によく似ているのも親しみがわく理由の一つではないでしょうか。

「カーネーション」まだ見ていない方はぜひご覧になってみてください。

